



福岡県感染症情報ホームページでは、
感染症発生情報、病原体検出情報などを
ご覧になれます。

がん感染症疾病対策課感染症対策係
担当 中尾 長藤
直通：092-643-3597
内線：3065

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和8年第23週（令和8年6月1日～令和8年6月7日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- ・手足口病の警報が継続しています。手足口病は、感染から3～5日後に、口の中や手足に水疱性の発しんが現れます。通常数日間で症状が消失しますが、発しんが消えた後も、2～4週間は便にウイルスが排泄されます。感染経路は、飛まつ感染、接触感染、糞口感染があり、保育施設等の集団生活の場では特に注意が必要です。予防のために、日頃から石けんと流水で十分に手を洗う、タオルの共用をしない、排泄物（おむつ）を適切に処理する等を心がけましょう。
- ・腸管出血性大腸菌感染症の報告が5件ありました。本疾患は腸管出血性大腸菌を原因とし、主な症状は、腹痛や水溶性下痢、血便であり、嘔吐や発熱を伴う場合もあります。菌は主に食肉等に付着しており、加熱不十分な肉を摂取すること等で感染します。焼肉やバーベキューの際は、食品の中心部まで十分に加熱（75℃で1分以上）するとともに、調理器具を介した感染を防ぐためトングや箸等は調理用と食事用で使い分けましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	17	342	273	5,827
腸管出血性大腸菌感染症	5	51	42	879
カルバペナム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	30	12	404
後天性免疫不全症候群	2	23	16	378
侵襲性肺炎球菌感染症	3	63	50	1,427
梅毒	12	296	165	4,586
播種性クリプトコックス症	1	4	1	75
破傷風	1	2	1	40
百日咳	6	137	93	3,101

■ 定点把握疾患報告数

■ : 警報

■ : 注意報

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	109	0.89	1.91	1,361	0.36
インフルエンザ	6	0.05	0.86	261	0.07
急性呼吸器感染症	5,706	46.77	1.06	175,999	47.18
RSウイルス感染症	43	0.61	1.10	737	0.33
咽頭結膜熱	85	1.21	1.13	1,264	0.56
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	241	3.44	0.82	6,296	2.79
感染性胃腸炎	459	6.56	1.06	11,610	5.14
水痘	49	0.70	0.84	999	0.44
手足口病	490	7.00	1.32	3,186	1.41
伝染性紅斑	10	0.14	5.00	187	0.08
突発性発しん	36	0.51	0.86	872	0.39
ヘルパンギーナ	106	1.51	1.41	671	0.30
流行性耳下腺炎	3	0.04	0.75	114	0.05
急性出血性結膜炎	1	0.04	-	5	0.01
流行性角結膜炎	36	1.38	1.16	318	0.46
細菌性髄膜炎	1	0.07	-	9	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	-	12	0.02
マイコプラズマ肺炎	1	0.07	0.33	112	0.23
クラミジア肺炎	0	0.00	-	10	0.02
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	23	0.05